

問1 2065年の日本における人口の将来推計では、高齢化率が38.4%に達すると予測されています。このような社会の到来がもたらす課題と、その背景にある人口構造の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 年少人口の割合が増加に転じるため、待機児童問題の解決が最優先事項となる | 2. 高齢化率が3分の1を超える一方で、総人口は増加し続けるため食料自給率が低下する | 3. 働く世代である生産年齢人口の割合が低下し、年金や医療などの社会保障制度を維持するための負担が増大する | 4. 高齢化率が2000年比で3倍以上に急増するため、都市部から地方への若者の移住が強制的に進められる |
|--|--|---|---|

問2 天井川の形成プロセスとその背景にある要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. 河口付近で波の作用により砂が溜まり、川の流れがせき止められて水位が上昇した。 | 2. 大規模な地殻変動によって、河川が流れている範囲の地盤だけが局地的に隆起した。 | 3. 上流から運ばれた土砂による川底の堆積と、人間による堤防の積み増しが繰り返された。 | 4. 河川の浸食作用が強まったことで周囲の土地が削られ、相対的に川の位置が高くなった。 |
|---|---|---|---|

問3 日本の海岸線の特徴を説明した資料において、山地が海に面し、複雑な凹凸を持つ海岸地形の形成理由を説明したものとして、正しい記述を選択してください。 (2020年 高知公立入試 類似)

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 地殻変動による土地の沈降や海面上昇によって、山地の谷の部分に海水が入り込んだ。 | 2. 河川から運ばれてきた大量の土砂が河口付近に堆積し、平坦な土地が海へ突き出した。 | 3. 沿岸流によって運ばれた砂が湾の入り口をふさぐように長くたまり、細長い地形を作った。 | 4. 浅い海を堤防で囲い込み、ポンプで海水を排水することで陸地へと造り替えた。 |
|--|--|--|---|

問4 内陸の盆地に位置する松本市の気候は、海岸に近い仙台市や岡山市とは異なる特色を持っています。松本市のような内陸の気候に見られる気温と降水量の推移の特徴として、最も正しいものを選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

- |   |                                 |   |  |
|---|---------------------------------|---|--|
| 1. 海から離れているため気温の日較差や年較差が大きく、年降水量は比較的小さい | 2. 対馬海流の影響を直接受けるため、冬の降水量(降雪量)が多 | 3. 一年を通じて偏西風の影響を強く受けるため、季節による気温の変化がほとんどない | 4. 湿った季節風が常に吹き込むため、年間を通じて100mm以上の降水が毎月ある |
|---|---------------------------------|---|--|

問5 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この影響で夏の気温が上がらず、稲などの農作物の育ちが悪くなる自然災害を何といいますか。 (2014年 和歌山公立入試 類似)

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 冷害 | 2. 干害 | 3. 霜害 | 4. 塩害 |
|-------|-------|-------|-------|

問6 日本列島の地形区分において重要な役割を持つフォッサマグナに関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2021年 山口公立入試 類似)

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 1. 新潟県から静岡県に及び「大きな溝」を意味する地域で、西側の縁は糸魚川静岡構造線と呼ばれる。 | 2. 関東地方から九州地方までを東西に貫く日本最大の断層であり、山地を南北に分断している。 | 3. 太平洋の海底に位置する深く細長い溝であり、大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込む場所である。 | 4. 日本列島の弧に沿って分布する火山の並びのことであり、プレートの沈み込み深さと密接に関係している。 |
|--|---|--|---|

問7 地形図上で「双葉」のような形で描かれる地図記号(水田)が多く見られる場所について、その地形的特徴と立地の関係を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)

- |  |                                     |  |  |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 稲作に必要な水を得やすいため、一般に周囲よりも標高が低い平坦な土地に位置する。 | 2. 水はけを良くするため、等高線が密集している急な斜面地に位置する。 | 3. 冷涼な気候を利用するため、その地域の中で最も標高が高い山頂付近に位置する。 | 4. 土地の浸水を防ぐため、周囲より標高が高い等高線の間隔が狭い場所に位置する。 |
|--|-------------------------------------|--|--|

問8 日本の気候区分のうち、茨城県水戸市のように、夏から秋にかけて降水量が多くなり、冬には乾燥した晴天が続く特徴を持つ気候を何といいますか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)

- |            |            |            |           |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 太平洋側の気候 | 2. 日本海側の気候 | 3. 中央高地の気候 | 4. 瀬戸内の気候 |
|------------|------------|------------|-----------|

問9 日本の東北地方の太平洋沖では、北から流れてくる千島海流(親潮)と、南から流れてくる日本海流(黒潮)という、性質の異なる2つの海流がぶつかり合っています。このように寒流と暖流が接する境界の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

- |           |        |         |         |
|-----------|--------|---------|---------|
| 1. 潮目(潮境) | 2. 大陸棚 | 3. カルデラ | 4. ラグーン |
|-----------|--------|---------|---------|

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 3**  
**働く世代である生産年齢人口の割合が低下し、年金や医療などの社会保障制度を維持するための負担が増大する**
- 高齢化率が上昇し、2065年に3分の1を超えるという推計は、同時に働く世代（生産年齢人口）が減少することを意味します。これにより、一人の現役世代が支える高齢者の数が増えるため、年金、医療、介護といった社会保障制度の維持が困難になることが懸念されています。年少人口（0～14歳）の割合も低下傾向にあるため、少子高齢化は多方面にわたる社会的な課題を生じさせます。
- 問2** **答え 3**  
**上流から運ばれた土砂による川底の堆積と、人間による堤防の積み増しが繰り返された。**
- 天井川は、自然現象としての土砂堆積と、それに対応する人間の防災活動（堤防の強化）が組み合わさってきた地形です。土砂の供給が多い急峻な地形や、古くから人々が定住し、氾濫を抑える必要があった地域で多く形成されました。
- 問3** **答え 1**  
**地殻変動による土地の沈降や海面上昇によって、山地の谷の部分に海水が入り込んだ。**
- リアス海岸のような複雑な海岸線は「沈水」という過程を経て作られます。もともと陸地だった起伏の激しい山地が、土地の沈降や氷河期が終わった後の海面上昇によって海の下に沈むことで、かつての谷筋が深い入り江となります。これに対し、土砂が堆積してできるのは三角州、砂がたまってできるのは砂州、人工的に陸地を作るのは干拓であり、リアス海岸の形成過程とは異なります。
- 問4** **答え 1**  
**海から離れているため気温の日較差や年較差が大きく、年降水量は比較的少ない**
- 内陸の盆地は海から遠く、水温に比べて変化しやすい地表の影響を強く受けるため、夏と冬の気温差（年較差）や一日の最高・最低気温の差（日較差）が大きくなります。また、周囲を山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、海岸部に比べて年間降水量が少なくなるのが典型的な内陸性気候の特徴です。
- 問5** **答え 1**  
**冷害**
- オホーツク海高気圧から吹き込む冷涼な電解気流（やませ）は、夏の東北地方に低温と日照不足をもたらします。これにより、特に稲の開花や登熟（実り）が妨げられる現象を冷害と呼びます。かつては深刻な飢饉の原因ともなりましたが、現在は寒さに強い「耐冷性品種」の育成などの対策が進んでいます。
- 問6** **答え 1**  
**新潟県から静岡県に及ぶ「大きな溝」を意味する地域で、西側の縁は糸魚川静岡構造線と呼ばれる。**
- フォッサマグナは単なる一本の線ではなく、幅を持った地溝帯（溝状の地形）を指します。西日本を縦断する中央構造線や、海底地形である日本海溝、火山活動の分布を示す火山帯とは、その構造や位置づけが明確に区別されます。
- 問7** **答え 1**  
**稲作に必要な水を得やすいため、一般に周囲よりも標高が低い平坦な土地に位置する。**
- 水田は稲を育てるために大量の水を蓄える必要があるため、河川から水を引きやすく、かつ水がたまりやすい低地に多く作られます。地形図上では、等高線の間隔が広く平坦であることが読み取れる場所に、この双葉のような記号が分布するのが一般的です。
- 問8** **答え 1**  
**太平洋側の気候**
- 太平洋側の気候は、夏に湿った南東の季節風の影響を受けるため、夏から秋（梅雨や台風時期を含む）にかけて降水量が多くなります。一方、冬は北西の季節風が日本列島中央の山脈で遮られるため、水分を失った乾燥した風が吹き、晴天の日が多くなるのが特徴です。
- 問9** **答え 1**  
**潮目（潮境）**
- 北から南下する寒流（親潮）と、南から北上する暖流（黒潮）が衝突する境界は「潮目」または「潮境」と呼ばれます。この海域は海水の攪拌（かくはん）によってプランクトンが豊富に発生し、世界的な漁場の一つとして知られています。